

福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会
第9回建設検討委員会 会議概要

1．開催日時	平成20年5月12日(月) 10:30～11:12
2．開催場所	春日市議会 全員協議会室
3．出席者	<p>委員長(福岡市環境局長) 副委員長(春日市地域生活部長) 委員(福岡市環境局総務部長) 委員(福岡市環境局施設部長) 委員(福岡市環境局総務部計画課長) 委員(春日市地域生活部環境課長) 委員(大野城市環境生活部長) 委員(大野城市環境生活部リサイクル推進課長) 委員(太宰府市市民生活部長) 委員(太宰府市市民生活部環境課長) 委員(那珂川町住民生活部長) 委員(那珂川町住民生活部環境防災課長) 委員(福岡都市圏南部環境事業組合事務局長)</p>
4．欠席者	なし
5．議 題	<p>(1) 議事 議題1 今後のスケジュールについて 議題2 中間処理施設処理方式の検討について</p> <p>(2) 報告事項 報告1 建設検討委員会中間処理施設視察報告について</p> <p>(3) その他</p>

(1) 議 事

議題1 今後のスケジュールについて

【協議事項】

組合事業関係

- ・ 中間処理施設候補地の地形調査測量に関する業務委託を実施する。
- ・ 8月から、中間処理施設の基本計画策定(環境保全、配置計画、動線計画など)に関する業務委託及び生活環境影響調査に関する業務委託を実施する。
- ・ 経営手法調査に関する業務委託を9月から実施する。

組合議会関係

- ・ 定例議会を8月と3月に開催する計画である。また、全員協議会(5月、11月など)や先進地視察も計画されている。
- ・ 事務局から本委員会の検討状況、結果等を適時報告すると共に、議会の意見を本委員会に報告する。

建設検討委員会関係

- ・ 建設検討委員会は、中間処理施設の処理方式については、本日第9回から7月第10回、10月第11回、11月第12回と、検討項目について詳細に比較・検討を行い、平成21年1月第13回を目途に決定し、中間報告をとりまとめる。
- ・ 並行して、中間処理施設の基本計画、生活環境影響調査、経営手法について検討する。
また、例月の担当課長会議後、担当課長・係長等にて処理方式の勉強会を行う。
- ・ 専門部会は、建設専門部会では8月以降、中間処理施設の基本計画や生活環境影響調査に関して、環境保全、施設配置・動線などについて検討を行う。
また、経営手法の検討のため、新たに有識者による経営専門部会を設置する。

議題2 中間処理施設処理方式に関する検討について

【協議事項】

検討項目について

- 建設専門部会意見書を踏まえ、第7回建設検討委員会で決定した次の4項目とする。
- 残渣物の資源化及び最終処分に関する安定性
 - 国内の稼働状況及び事故事例の確認
 - エネルギーの効率化及び環境への配慮
 - ライフサイクルコスト（最終処分場を含む）

基本的条件について

- ・建設専門部会が最低限満足しなければならない条件を満たすとした5方式について「福岡都市圏南部可燃ごみ処理基本構想」で定めた施設稼働目標期間の25年間で比較検討を行う。
- ・比較データの基本的な条件を次の通り定める。
 - ごみ処理量及びごみ質は、基本構想で定めたとおりとする。
 - 施設規模については、基本構想で定めた上限値600t/日とする。
- ・運営経費等を比較するための設定条件として、事業主体を公設公営・運転委託とし、各方式の運転要員数を設定する。

検討事項について

炉構成は、基本構想では2基以上としているが、処理方式の検討に当たって決定することから、建設・運営経費や定期修理炉停止時のごみの受け入れ等を考慮し、次回の検討委員会で検討する。

残渣物の資源化及び最終処分に関する安定性について

- 残渣量は、基本条件 処理量・ごみ質により算定し、次回の検討委員会で評価・検討する。
- 残渣物の最終処分方法の検討は、埋立量（重量、体積）、灰、飛灰、スラグの資源化等について、費用、並びに資源化の方法や可能性について、評価・検討する。

国内の稼働状況及び事故事例の確認について

- 事故事例の整理は、方式毎の事故事例やその対応が現時点でどのようになっているかなどを評価・検討する。
- 施設の耐用年数の検討は、第12回の検討委員会までに評価・検討する。

エネルギーの効率化及び環境への配慮について

- エネルギーの効率化は、発電量、受電量、外部送電量などを評価・検討する。
- 補助燃料等の投入によるエネルギーについては、CO₂排出量の検討や、ライフサイクルコストの中で評価・検討する。
- CO₂排出量の検討は、方式毎のCO₂総排出量を評価・検討する。

ライフサイクルコストについて

- 中間処理施設は、建設費、運営費、維持費、解体費、電力収支、資源売払いの6項目について評価・検討する。
- 最終処分場は、建設費、運営費、維持費、安全閉鎖の4項目について、評価・検討する。
- 年度別負担額の推移は、を踏まえて評価・検討する。

(2) 報告事項

報告1 建設検討委員会中間処理施設視察報告

【事務局報告概要】

視察目的 一般廃棄物中間処理施設の建設・運営に関する知見を得るため。

視察月日 平成20年4月17日(木)

視察者 管理者、副管理者、建設検討委員会委員及び事務局職員

視察先

玄界環境組合宗像清掃工場(シャフト式ガス化溶融方式)

玄界環境組合古賀清掃工場(キルン式ガス化溶融方式)

福岡クリーンエナジー東部工場(ストーカ式焼却方式)

事前に各施設に、機種(処理方式)の選定理由、処理対象ごみの種類・量、残渣物、電力の収支、燃料代及び運営上の利点などの質問票を送付し、回答を得ており、今後の処理方式検討に活用する。